

## 第 章 フィギュアスケート

国際スポーツプログラムとしてのスペシャルオリンピックスフィギュアスケート競技は、国際スケート連盟 ( ISU ) のフィギュアスケートのルールに従い行われるものとする。下記のスペシャルオリンピックス公式競技ルールには、全てのスペシャルオリンピックスアスリートのことをふまえて、ISU ルールが変更されているところがある。ISU のルールと矛盾する場合は、スペシャルオリンピックスの公式ルールが適用される。

|                            |             |
|----------------------------|-------------|
| セクション A : 公式種目             | . 1         |
| セクション B : 競技施設             | . 1         |
| セクション C : 用具               | . 1 - . 2   |
| セクション D : 役員               | . 2         |
| セクション E : 競技ルール            | . 2 - . 9   |
| セクション F : ユニファイドスポーツ種目™    | . 9         |
| セクション G : 得点               | . 9 - . 11  |
| セクション H : 技能 ( スキル ) 競技の運営 | . 11 - . 13 |
| 図                          | . 14 - . 19 |

### セクション A - 公式種目

スペシャルオリンピックスでは、シングル競技、ペアスケーティング、アイスダンスの3競技を公式種目とする。

- 1 . シングル競技 ( シングルレベル 1 - 6 )
- 2 . ペアスケーティング ( ペアレベル 1 - 2 )
- 3 . アイスダンス ( アイスダンスレベル 1 ) ( レベル と )
- 4 . ゲストスケーターダンス ( レベル 1 - 3 )
- 5 . ユニファイドペアスケーティング
- 6 . ユニファイドアイスダンス

以下は、競技能力の低いアスリートにとって有意義な種目である。

- 7 . 技能競技 ( 世界大会種目ではなくローカルの競技会とプログラムレベル競技会用 )

### セクション B - 競技施設

- 1 . 最小でも 2 6 m × 5 6 m ( 8 5 ' × 1 8 5 ' ) の長方形リンクを要する。

2. アスリートのために暖房の利く場所と更衣施設が用意されねばならない。

#### セクション C - 用具

1. 伴奏音楽のための音響設備を装備しなければならない。

#### 2. 競技用衣装とスケート靴

a. 衣装は演技者の技術の達成度を高める物でなければならず、それを損なうものであってはならない。

#### b. シングル予選 女子

1) フィギュア用スケート靴は綺麗に磨かれ、紐を内側にたくし込んでいなければならない。

2) 簡素で体に合ったフィギュアスケート用ドレス(コスチューム)、スカートまたはタートルネックのジャンパー(アメリカではブラウスやセーターの上に着る袖無しのドレスの事をいう)及び/又はセーター

3) きっちりウェストまであるパンティストッキング又はタイツ、下着は見えてはならない。

4) 固定できない装身具(ネックレスやブレスレット)は着用禁止

#### c. シングル決勝 女子

1) 2. a. 1) に同じ

2) プロのコーチの承認を受け全体が良いセンスで統一されていれば、ドレス(コスチューム)にビーズやスパンコールをあしらっても良い。小道具(帽子、杖、ボア等)は使用を禁ずる。

3) 2. a. 3) に同じ

4) 2. a. 4) に同じ

#### d. シングル予選 男子

1) 2. a. 1) に同じ

2) 簡素で体に合ったズボン(伸縮性素材のものやプレーンな色彩のものが望ましい)と、及び/又はタートルネックの長袖のセーター。スエットパンツは許されない。

3) よく整った服装が望ましい。

#### e. シングル決勝 男子

1) 2. a. 1) に同じ

- 2) 簡素で体に合ったズボン又はジャンプスーツ（演技の妨げにならないシンプルな装飾がほどこされている伸縮性素材のもの、色彩は問わない）
- 3) 上記に同じ
- 4) 小道具（帽子、杖等）禁止

f . ペア

- 1) 男女ともシングル決勝の項に記載された服装規定を参照のこと

g . アイスダンス

- 1) 男女ともシングル決勝の項に記載された服装規定を参照のこと。

## セクション D 役員

### 1 . 競技スタッフ

- a . 主席レフリー
- b . 次席レフリー
- c . 主席得点記録係

### 2 . 審判

- a . 最低 3 人、最高 9 人（うち一人は主審）の審判と得点記録係、記録係助手が必要である。どの場合でも審判は奇数でなければならない。

## セクション E - 競技ルール

### 1 . シングル

#### a . レベル コンパルソリーエレメントグループ

- 1) 競技者は次のエレメントを個別に滑らなければならない。エレメントグループの演技には二回のチャンスが与えられる。
  - a . 10 m のフォアスウィルズ
  - b . 10 m のバックスウィルズ
  - c . 片足スノウブラウストップ（イの字ストップ）

#### b . レベル フリースタイルプログラム

- 1) 競技者はリンク上のどこからでも演技を開始できる。
- 2) 競技者が演技を開始した時点で審判と計時が開始される。
- 3) これは、初心者のためのフリースタイルのプログラムである。バランス、滑走、初歩的な優雅な動作の開始に重点を置き、バッジ 1 - 5 から選択されたエレメントを含むバランスの良いプログラム（バッジプログラムはスペシャ

SO Winter Sports Rules 2003 2006  
FIGURE SKATING

ルオリンピックスフィギュアスケートスキルガイドに記載してある)

- 4) スピンは禁止。その場での両足ジャンプのみが許可される。両足ジャンプとは両足で踏み切り、両足で着地するジャンプをいう。
- 5) エレメントの技はどの順序で演じてもいい。
- 6) 競技者は決められた数の技を行う必要はないが、得点は演技の質と内容に基づいて判定される。
- 7) プログラムは器楽演奏による音楽に合わせて演じられなければならない。(ボーカルは不可) ボーカルの使用に対しては、2の強制減点が行われる。
- 8) プログラムは60 ± 10秒の制限時間を越えてはならない。

c . レベル コンパルソリーエレメントグループ

- 1) 競技者はリンク上同一方向に続けて180度ターンを二回行い、得点を得るために停止(ストップ)しなければならない。
- 2) 競技者はリンクのいずれかの端(又は赤色のゴールライン上)から演技を開始する。
- 3) 競技者はレフリーから開始の指示があった時に演技を開始する。
- 4) 競技者は最初の青色ラインまで、あるいはリンクの長さの約1/3の地点までフォアストロークで前進する。(スウィズルは禁止。スウィズルに対しては、2の強制減点が課せられる)
- 5) 競技者は最初の青色ラインでフォアからバックヘターンを行う。
- 6) ターンの後、二番目の青色ラインまで、あるいはリンクの長さの約2/3地点までバックストロークで滑走する。(スウィズルは禁止、スウィズルに対しては、2の強制減点が課せられる)
- 7) 二番目の青色ラインで競技者はバックからフォアヘターンを行う。
- 8) ターンの後、競技者はフィニッシュライン(リンクの端の赤色ライン)まで前進する。
- 9) フィニッシュラインでT字ストップを行う。
- 10) 各競技者はコンパルソリーのエレメントグループを演じるため二回まで演技できる。
- 11) レベル コンパルソリーエレメントグループ: ホッケーサークルでフォアクロスをフィギュアエイトのパターンで滑走する。時計回り及び反時計回りで(間にステップなしで)。一つのサークルにつき最低5回のクロスオーバーを行う。

d . レベル フリースタイルプログラム

- 1) 競技者はリンク上のどこでも演技を開始できる。

SO Winter Sports Rules 2003 2006  
FIGURE SKATING

- 2) 競技者が演技を開始した時点で審判と計時が開始される。
- 3) これは、上級初心者のためのフリースタイルのプログラムである。滑走とターンに重点を置き、バッジ 1 - 10 から選択されたエレメントを含むバランスの良いプログラムである。(バッジプログラムはスペシャルオリンピックスフィギアスケートスキルガイドに記載してある)
- 4) 両足スピナー一回以外のいかなるスピナーも、バニーポップ一回以外のいかなるジャンプも、追加した各々のエレメントに対し、2 の強制減点が行われる。
- 5) エレメントの技はどの順序で演じていても良い。
- 6) 競技者は決められた数の技を行う必要はないが、得点は演技の質と内容に基づいて判定される。
- 7) プログラムは器楽演奏による音楽に合わせて演じられなければならない。(ボーカルは不可) ボーカルの使用に対しては、2 の強制減点が行われる。
- 8) プログラムは  $90 \pm 10$  秒の制限を越えてはならない。
- 9) レベル でバックスパイラルは認められない。これに対し、2 の強制減点が行われる。

e. レベル コンパルソリールーエレメントグループ

- 1) 競技者はレフリーが指示した地点からエレメントの演技を開始しなければならない。
- 2) 競技者はレフリーから開始の指示があった時に演技を開始する。
- 3) 競技者は次の演技を行わなければならない。
  - a. アウトエッジ、インエッジを使って前進する。左右の足を正しく交差させ短いストロークで滑る。リンクの横幅を右足からスタートして左足に替え、連続 4 エッジ滑る。
  - b. 競技者は右足フォアアウトスリーターンと左足フォアアウトスリーターンを行わなければならない。この技は 2 回行わなければならない。演技者はひと蹴りでスリーターンを行う。スリーターンを行う時、スケートは各スリーターンの前に 1 m、後に 1 m しか滑ってはいけない。
  - c. 競技者は右のフォアインエッジから左のバックインエッジのオープンモホークと左のフォアインエッジから右のバックインエッジのオープンモホークを行う。フリーレグをターンの前後では伸ばしてはいなければならない。
- 4) 上記の各エレメントに対して 1 スコアを獲得するために競技者は 2 回演技することができる。
- 5) 審判から最も高い合計得点を集めた時の演技点は演技者の最終得点に加えられる。それ以外の場合の演技点は無効とする。

6) 競技者は上記のエLEMENTに付いて個別に演技しなければならない。

f . レベル フリースタイルプログラム

- 1) 競技者はリンク上のどこでも演技を開始できる。
- 2) 競技者が演技を開始した時点で審判と計時が開始される。
- 3) これは、中級者のためのフリースタイルのプログラムである。フローとキャリングに重点を置き、バッジ1 - 12から選択されたELEMENTを含むバランスの良いプログラム。(バッジプログラムはスペシャルオリンピックスフィギアスケートスキルガイドに記載してある) 競技者はシンプルフットワーク、フィールドムーブ(スパイラルやランジ等)を演技できるし、サルコウ・ジャンプやトゥ・ループ・ジャンプを行っても良い。
- 4) 片足スピン1回以上のいかなるスピンも、またトゥループジャンプとサルコウジャンプ1回以上のいかなるジャンプも、追加したそれぞれのELEMENTに対し、2の強制減点が行われる。
- 5) ELEMENTの技はどの順序で演じてても良い。
- 6) 競技者は決められた数の技を行う必要はないが、得点は演技の質と内容に基づいて判定される。
- 7) プログラムは器楽演奏による音楽に合わせて演じられなければならない。(ボーカルは不可) ボーカルの使用に対しては、2の強制減点が行われる。
- 8) プログラムは2分 ± 10秒の制限時間を越えてはならない。

g . レベル コンパルソリーELEMENTグループ

- 1) アウトエッジ、インエッジを使ってバック滑走する。左右の足を正しく交差させ短いストロークで滑る。リンクの横幅を右足からスタートして左足に替え、連続4エッジを滑る。
- 2) フォアクロス、インサイドモホーク、バッククロス、前進(ステップシークエンスは2回繰り返し、左右の足で演技しなければならない)
- 3) ワルツスリーステップシークエンス
  - a) ワルツスリーステップはフィギュアエイトのパターンで行われる。2歩の助走を加えてもよい。すなわち、両足をそろえ、そしてRFOスリー、LBOエッジなど。スリーターンとバックエッジの時のフリーレグは選択自由。最低3回、一つのサークルにつきスリーターン/バックエッジのシークエンスを行う。

h . レベル フリースタイルプログラム

- 1) 競技者はリンク上のどこでも演技を開始できる。

- 2) 競技者が演技を開始した時点で審判と計時が開始される。
- 3) これは、上級者のためのフリースタイルのプログラムである。スピンとジャンプとフットワークに重点を置き、フリースケーティング（自由演技）のエレメントを含むバランスの良いプログラム。プログラムには半回転のジャンプとサルコウジャンプ、トゥループジャンプ、ループジャンプを加えても良いがその他のフルローテーションジャンプを加えてはならない。プログラムには、両足スピンから外側の足を上げるスピン（バックスピンから始める）を1つ加えても良いが、他の足換えスピンをしてはならない。
- 4) ルール# 3で説明されたように、1回のサルコウジャンプ、トゥループジャンプ、ループジャンプ以外のいかなるフルローテーションジャンプや、バックスピンから始まるいかなる足換えスピンは、追加した各々のエレメントに対し、2の強制減点が行われる。
- 5) ワルツジャンプ、トゥループまたはサルコウ、トゥループの組合せジャンプを加えてもよい。
- 6) プログラムは器楽演奏による音楽に合わせて演じられなければならない。（ボークアルは不可）ボークアルの使用に対しては、2の強制減点が行われる。
- 7) プログラムは2分 ± 10秒以内でなければならない。

i . レベル コンパルソリーエレメントグループ

- 1) LBO3 -LFIモホーク（繰り返し）
- 2) RBO3 -RFIモホーク（繰り返し）
- 3) RFOI change edge - LFI3（右フットアウトからインへ刃ヅ - 左フットインリターン）  
図# 3 参照
- 4) RFIO change edge - LFO3（右フットインからアウトへ刃ヅ - 左フットアウトリターン）  
図#4 参照
- 5) LFOI change edge - RFI3（左フットアウトからインへ刃ヅ - 右フットインリターン）  
図#5 参照
- 6) LFIO change edge - RFO3（左フットインからアウトへ刃ヅ - 右フットアウトリターン）  
図#6 参照
- 7) エレメント3と4はリンクの長さに沿って行われる。最大4歩の助走を行ってもよい。
- 8) エレメント5と6はリンクの長さに沿って行われる。最大4歩の助走を行ってもよい。

j . レベル フリースタイルルーチン

- 1) 競技者は氷面上のどこでも演技を開始できる

- 2) 競技者がスケートを開始した時点で審判と計時が開始される
- 3) これは上級のフリースタイルプログラムである。スピンの、コンビネーションスピンの、上級ジャンプ、コンビネーションジャンプ、フットワークの位置に重点を置きフリースケーティング（自由演技）のエレメントを含むバランスの良いプログラム。
- 4) レベル FS プログラムはいかなるシングルローテーションジャンプを行うことができる。アクセルまたはマルチ回転ジャンプは禁止で、コンビネーションでもアクセルまたはマルチ回転は禁止である。レベル FS のスピンは、足換えそしてまたは姿勢の変化を行ってもよいが、“フライングスピン”は禁止である。
- 5) プログラムは器楽演奏による音楽に合わせて演じられなければならない。（ボカールは不可）ボカールの使用に対しては、2の強制減点が行われる。
- 6) プログラムは2分30秒±10秒内でなければならない。

k. レベル コンパルソリーエレメントグループ

- 1) リンクの長い方の端から端までフォアクロスストローク。リンクの長い方の線の端から端までバッククロスストローク。
- 2) ブラケット RFO - LBI ブラケット、ストップ。（クロージングアップサークル）、LFO-RBI ブラケット RFI-LBO ブラケット、ストップ。（クロージングアップサークル）、LRI-RBO ブラケット。

1. レベル フリースタイルプログラム：このレベル プログラムはストレートライン、サーキュラー又はサーペントインのフットワークシーケンス、それと最低3回の足換えポジションあるスパイラルシーケンスをしなければならない。これは最上級のプログラムで、フライングスピン、足換え、姿勢の変化、アクセル、ダブルジャンプ、そしてどんなコンビネーションも可能である。

2. ペアレベル（これは SO または SO ペア競技者とユニファイド™ペア競技者に適用される）この種目に参加している競技者は、レベル のシングル競技者でありバッジ1 - 10を合格していなければならない。競技者はバッジ1 - 10からのいかなるシングルのエレメントを演技することができる。

a. レベル ペアコンパルソリーエレメントグループ

- 1) 競技者はレフリーが指示した地点から演技を開始しなければならない。
- 2) 競技者はレフリーから開始の指示があった時に演技を開始する。
- 3) コンパルソリーペアレベル は、連続した動きとして演技しなければならない。競技者は音楽なしで最長1分30秒、次のスキルを演技する時間を持つ。

SO Winter Sports Rules 2003 2006  
FIGURE SKATING



リング端のホッケーゴールクリースで開始し、カップルは手を取り合ってリンク中央へ前進ストロークする。フォアクロスでフィギュアエイトのパターンを滑り（1シークエンス時計回り及び反時計回り）続けてリンクのもう一方の端へ前進ストロークし、ゴールクリースでT字ストップし、並んで両足スピンをを行う。

- 4) 競技者はチーム（2人）で各コンパルソリーのエレメントを演じなければならない。競技者はこれらのエレメントを連続した動きとして音楽なしで演じなければならない。
- 5) 各チーム二回演技することが出来る。
- 6) 審判から最も高い得点を集めた時の演技点は競技者の最終得点に加えられる。それ以外の場合の演技点は無効とする。

b . レベル ペアフリースタイルプログラム

- 1) プログラムは器楽演奏による音楽に合わせて演じられなければならない。（ボーカルは不可）ボーカルの使用に対しては、2の強制減点が行われる。
- 2) 各チームは1分±10秒以内のプログラムを演技する。
- 3) これは初心者ペアのためのものである。
- 4) 両足スピナー一回以外のいかなるスピナーも、バニーホッパー一回以外のいかなるジャンプも、追加した各々のエレメントに対し、2の強制減点が行われる。
- 5) エレメントの技はどの順序で演じていても良い。
- 6) 競技者は決められた数の技を行う必要はないが、得点は演技の質と内容に基づいて判定される。

c . レベル ペアコンパルソリーエレメントグループ

- 1) 競技者は氷面上のどこからでも演技を開始できる。
- 2) 競技者はレフリーから開始の指示があった時に演技を開始する。
- 3) 競技者は最大30秒、音楽なしで次のスキルを演技する時間を持つ。このスキルはどの順序でおこなってもよい。しかし追加スキルを加えることはできない。どの追加エレメントに対しても、2の強制減点が行われる。  
求められるスキル：フィギュアエイトパターンでバッククロスを行う。（1シークエンス時計回り及び1シークエンス反時計回り）。横並びでワルツジャンプ。ペアスピン - 好みのポジションで最低2回転、ステップシークエンス（パターンの選択は自由）ストレートライン、サーキュラー又はサーペントライン。
- 4) 競技者はチームとして各コンパルソリーのエレメントを演じなければならない。競技者は音楽なしでこれらのエレメントを連続した動きとして演じる。
- 5) 各チーム二回演技することが出来る。

- 6) 審判から最も高い得点を集めた時の演技点は競技者の最終得点に加えられる。  
それ以外の場合の演技点は無効とする。

d. レベル ペアフリースタイルプログラム

- 1) プログラムは器楽演奏による音楽に合わせて演じられなければならない。(ボ  
ーカルは不可) ボーカルの利用に対しては、2の強制減点が行われる。
- 2) 各チームは2分±10秒以内のプログラムを演技
- 3) これはより上級のペアプログラムである。
- 4) エレメントの技はどの順序で演じてても良い。
- 5) 競技者は決められた数の技を行う必要はないが、得点は演技の質と内容に基  
づいて判定される。

3. アイスダンス：レベル ダンス参加の競技者は、バッジ10またはレベル を合格し  
ていなければならない。しかしレベル シングル競技者よりレベルが上であってはな  
らない。全アイスダンス競技は、単独で演技されるか、男性一人と女性一人、男性二  
人、または女性二人のスペシャルオリンピックスアスリートで構成されるチームで演  
技される。

a. レベル コンパルソリーダンス

- 1) レベル のコンパルソリーダンスは全て音楽にあわせて演技される。
- 2) 競技者は次のローテーションスケジュールにしたがってダッチワルツ又はキ  
ャナスタタンゴ又はリズムブルースの演技をしなければならない。

レベル

2003 - ダッチワルツ

2004 - リズムブルース (世界大会への選考会の年)

2005 - リズムブルース (世界大会)

2006 - キャナスタタンゴ

- a) ダッチワルツ - 3 / 4 ワルツ - 毎分138ビート；氷面上を2パターンで  
踊るか一回まわる。(図#1参照)
- b) リズムブルース - 4 / 4 - ブルース - 毎分88ビート；氷面上を2パタ  
ーンで踊るか一回まわる。(図#3参照)
- c) カナスタタンゴ - 4 / 4 タンゴ - 毎分104ビート；氷面上を2パター  
ンで踊るか一回まわる。(図#2参照)

b. レベル コンパルソリーダンス

- 1) レベル のコンパルソリーダンスは全て音楽にあわせて演技される。
- 4) レベル ダンスの競技者はレベル でなければならない。しかしレベル シ

シングル競技者よりレベルが上であってはいけない。

レベル

2003 - スイングダンス

2004 - フェスタタンゴ (世界大会への選考会の年)

2005 - フェスタタンゴ (世界大会)

2006 - チャチャ

- a) スイングダンス - 2 / 4スコティッシュ - 毎分96ビート;氷面上を2パターンで踊るか2回まわる。(図#4参照)
  - b) フィエスタタンゴ - 4 / 4タンゴ - 毎分108ビート;氷面上を2パターンで踊るか一回まわる。(図#6参照)
  - c) チャチャ - 4 / 4チャチャ - 毎分104ビート;氷面上を2パターンで踊るか一回まわる。(図#5参照)
- 3) ダンス演技は審判に指定されたリンクの端で開始する  
4) イントロには最大7ステップを含めることができる。

c. レベル コンパルソリーダンス

- 1) レベル のコンパルソリーダンスは全て音楽にあわせて演技される。
- 2) レベル ダンスの競技者は、レベル またはそれ以上のシングル競技者でなければならない。

レベル

2003 - テンフォックス

2004 - ウィローワルツ (世界大会への選考会の年)

2005 - ウィローワルツ (世界大会)

2006 - ヒッコリーホーダウン

- a) テンフォックス - 4 / 4フォックストロット - 毎分100ビート;氷面上を2パターンで踊るか一回まわる。(図#8参照)
  - b) ウィローワルツ - 3 / 4ワルツ - 毎分138ビート;氷面上を2パターンで踊るか一回まわる。(図#9参照)
  - c) ヒッコリーホーダウン - 4 / 4カントリーウエスタン - (ホーダウン) - 毎分104ビート;氷面上を2パターンで踊るか一回まわる(図#7参照)
- 3) ダンスはレフリーの指定したリンクの端から始めなければならない。  
4) イントロには最大7ステップを含めることができる。

d. レベル コンパルソリーダンス

- 1) レベル のコンパルソリーダンスは全て音楽にあわせて演技される。

2) 競技者は、次のローテーションスケジュールにしたがってフォーティーンステップ又はヨーロピアンワルツ又はフォックストロットを演技しなければならない。

レベル

2003 - ヨーロピアンワルツ

2004 - フォックストロット

2005 - フォックストロット (世界大会2005)

2006 - フォーティーンステップ

- a) フォーティーンステップ - 4 / 4、2 / 4、又は6 / 8マーチ - ; 毎分112ビート、氷面上を2パターン行うか一周する。(図#10参照)
- b) ヨーロピアンワルツ - 3 / 4ワルツ - 毎分135ビート; 氷面上を2パターン行うか一周する。(図#11参照)
- c) フォックストロット - 4 / 4フォックストロット - 毎分100ビート; 氷面上を2パターン行うか一周する。(図#12参照)

3) ダンスはレフリーの指定したリンクの端から始めなければならない。

4) 序走には最大7歩を含めることができる。

4. ゲストスケーターダンス レベル1 - 4

a. スペシャルオリンピックスの競技者は、ワールドゲームに参加する全国ないし世界レベルの男子 / 女子ゲストスケーターとスケートを (演技) することができる。

b. 同じゲストスケーターがダンス競技のすべてのレベルにエントリーしているすべてのアスリートと滑ることができる。

c. ダンスはレフリーの指定したリンクの端から始めなければならない。

d. 音楽の前奏には最大7歩を含めることができる。

e. ソロダンスとSO/SOパートナーダンスについては、同じルールの基準がゲストスケーターダンスに適用される。

ゲストパートナーダンス種目: ゲストパートナーダンス競技に参加する全ての競技者は、定期的にアイスダンスのトレーニングをしていて、誰とでもパートナーを組むことに慣れていなければならない。

レベル1: 初回 - キャナスタタンゴ

最終回 - リズムブルース

レベル2: 初回 - チャチャ

- 最終回 - フェスタタンゴ  
レベル3 : 初回 - ヒッコリーホーダウン  
最終回 - ウィローワルツ  
レベル4 : 初回 - 14ステップ  
最終回 - フォックストロット

セクション F - ユニファイドスポーツ™種目

1. S O アスリートとユニファイドスポーツ™パートナーの選択は、年齢に近い者が望まれ、そしてフィギュアスケートのユニファイドスポーツ™トレーニングと、競技を行う能力を持つ者を選ぶ必要がある。
  
2. 各ユニファイドスポーツ™チームは S O アスリート 1 人とユニファイドスポーツ™パートナー 1 人で構成される。

セクション G - 得点

1. 総合得点資格
  - a) 競技者は予選と決勝の両方において総合得点資格を得るにはコンパルソリーとフリースタイルの両方を演じなければならない。
  - b) アイスダンスの競技者が予選と決勝の両方を演じなければならない。
  - c) 技能競技に出場した者は総合得点の資格を得るために指示された各必須技能を最低一回は演じなければならない。競技者には各技能を 2 回演ずるチャンスが与えられる。
  
2. 競技者は公式競技への出場資格を得るために予選（必要な時に）と決勝の両方で演技しなければならない。
  
3. 全てのスペシャルオリンピックスフィギュアスケート競技会において審判の採点は次のように評価される。
  - a. シングルフリースタイル競技
    - 1) コンパルソリー競技 - 33.3%
    - 2) フリースタイル競技 - 66.7%
  
  - b. ペアスケート
    - 1) コンパルソリー競技 - 33.3%
    - 2) フリースタイル競技 - 66.7%
  
  - c. アイスダンス

- 1) コンパルソリー競技 - 50%
- 2) フリースタイル競技 - 50%

#### 4. コンパルソリー競技 - シングル - フリースタイル

- a. 各審判はコンパルソリーのプログラムに対し評価点を与える。
- b. 減点は必須技能のエラーと省略の頻度を基準とする。
- c. レベル コンパルソリーエレメントに関しては審判は競技者のキャリング、スピード、ターンや停止の明確度を考慮する。
- d. レベル コンパルソリーエレメントに関しては審判は競技者のキャリング、スピード、ターンや停止の明確度を考慮する。
- e. レベル コンパルソリーエレメントに関しては審判は競技者のキャリング、形、調和、エッジやターンの滑らかさとコントロールを考慮する。

#### 5. 決勝フリースタイル競技 - シングル

- a. 各審判は決勝プログラムに対し二つの評価点を与える。
  - 1) 最初の評価点は競技者のプログラムのテクニカルメリットに対して与えられる。
  - 2) あとの評価点は競技者のプログラムのコンポジションとスタイルに対して与えられる。
- b. 審判と計時は競技者が演技を開始した時に始まる。
- c. 減点は必須エレメントのエラーと省略の頻度を基準とする。
- d. 制限時間を10秒経過した時、ホイッスルが吹かれる。審判はホイッスルの音を合図に審判を停止する。必須エレメントが含まれていれば、プログラムを完全に演じ終えなくても減点が行われない。但し、競技者はプログラムを演じ終えているいないに関係なくホイッスルが吹かれた10秒後、氷面上から退場を命じられる。

#### 6. コンパルソリー競技 - ペア

- a. 各審判はペアコンパルソリーのプログラムに対し二つの評価点を与える。
- b. 減点は必須技能のエラーと省略の頻度を基準とする。
- c. レベル ペアコンパルソリーエレメントに関しては審判はペア競技者のキャリング、エッジやターンの明確度、確実度やペアとしての連携度を考慮する。
- d. レベル ペアコンパルソリーエレメントに関しては審判はペア競技者のキャリング、エッジやターンの明確度、確実度やペアとしての連携度、スピード、氷面の活用度を考慮する。

#### 7. フリースタイル競技 ペア

- a . 各審判は決勝プログラムに対し 2 つの評価点を与える。
  - 1 ) 最初の評価点は競技者のプログラムのテクニカルメリットに対して与えられる。
  - 2 ) あとの評価点は競技者のプログラムのコンポジションとスタイルに対して与えられる。
- b . 審判と計時は競技者が演技を開始した時に始まる。
- c . 減点は必須エロメントのエラーと省略の頻度を基準とする。
- d . 定められた制限時間内に最小限のエロメントが終了されない場合は減点となる。
- e . 定められた制限時間内にペア競技者が必須エロメントを演技し終えている場合は減点されない。
- f . 制限時間を 10 分経過した時、ホイッスルが吹かれる。審判はホイッスルの音を合図に審判を停止する。
- g . ペア競技者はプログラムを演じ終えているにいないに関係なくホイッスルが吹かれた 10 秒後、氷面場から退場を命じられる。

#### 8 . コンパルソリー競技 - アイスダンス

- a . 各審判はコンパルソリーのダンスに対しステップ、エッジの深度、演技のタイミングを審査して 1 点を与える。

#### 9 . 決勝 アイスダンス

- a . 決勝ダンスに対して各審判は 2 つの評価点を与える。
  - 1 ) 最初の評価点は競技者のステップに関する知識と遂行力、パターンに関する知識と遂行力に対して与えられる。
  - 2 ) あとの評価点は競技者のスケートのダンスリズムの表現力とスタイルを評価して与えられるパフォーマンスの得点である。

#### 10 . 最終得点と順位付け

- a . 各部門でのアスリートの最終得点と順位は初戦から最終戦までの得点を加算して決定される。最終順位は各部門最高得点から最低得点の順で決定される。最高合計得点を得た者が画く能力別部門の優勝者となる。

### セクション H - 技能 (スキル) 競技の運営

#### 1 . 技能 (スキル) 競技

(世界大会種目ではなくローカルの競技会とプログラムレベル競技会用)

- a . 次の 11 の個人技能 (スキル) 競技において、競技者に各技能を 2 回演技するチャンスが与えられる。その演技が決勝戦となる。この競技では予選は実施されない。

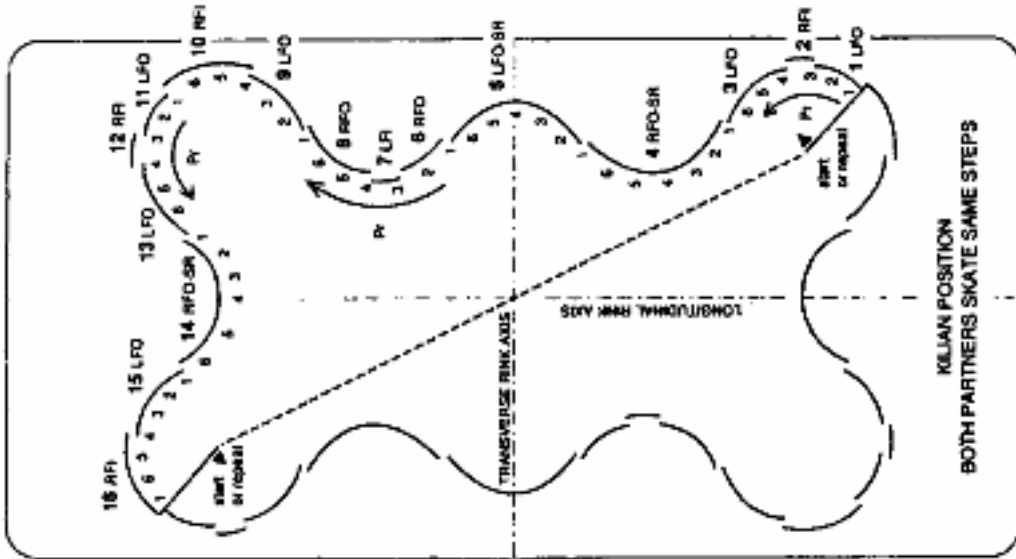
SO Winter Sports Rules 2003 2006  
FIGURE SKATING

- b . 審判は演技者の2回の技能(スキル)演技の各々に対し得点を与える。
- c . 審判は、 . 1を最低、6 . 0を最高とする。 . 1から6 . 0までの評価基準を用いて、技能(スキル)演技を採点する。
- d . 競技者の最終得点と順位を決定するため、2回の演技に対する最高得点を使用し、各技能に対して与えられた高得点を加算する。
- e . 技能競技 - 競技者は技能競技2に出場するにはバッジ2が、技能競技3に出場するためにはバッジ3が完全に出来なくてはならない。以下同様(バッジプログラムはSOフィギュアスケートガイド参照)
  - 1) 技能競技
    - a) 基本姿勢で10歩歩く。(補助なし)
    - b) その場でスイズル。(3回繰り返し)
    - c) 少なくとも体長の区間を両足そろえて滑走する。
  - 2) 技能競技2
    - a) 基本姿勢でバック歩行もしくはウィグル。(補助なし)
    - b) スウィズル5回で少なくとも10フィートの区間を前進する。
    - c) 少なくとも体長の区間ひざを曲げて滑走する。
  - 3) 技能競技3
    - a) 少なくとも体長の区間両足を揃えてバック滑走する。
    - b) イの字ストップ。(左右いずれかの足)
    - c) 少なくとも体長の区間フォアの片足滑走ができる。(左右いずれかの足)
  - 4) 技能競技4
    - a) スウィズル5回で少なくとも10フィートの区間を後進する。
    - b) 両足のフォア左カーブ、右カーブでリンクを横切る。
    - c) その場でフォアからバックへ両足ターン。
  - 5) 技能競技5
    - a) フォア滑走からバック滑走へ両足ターン。
    - b) 体長の区間を片足でバック滑走する。(左右両方の足)
    - c) フォアピボット。
  - 6) 技能競技6
    - a) バックストロークでリンクを横切る。
    - b) バック滑走からフォア滑走へ両足ターン。
    - c) 左右いずれかの足でT字ストップ。
  - 7) 技能競技7
    - a) 5回連続フォアクロス。(左、右)
    - b) フォアアウトエッジにのって滑る。(左、右)
    - c) 両足スピン。

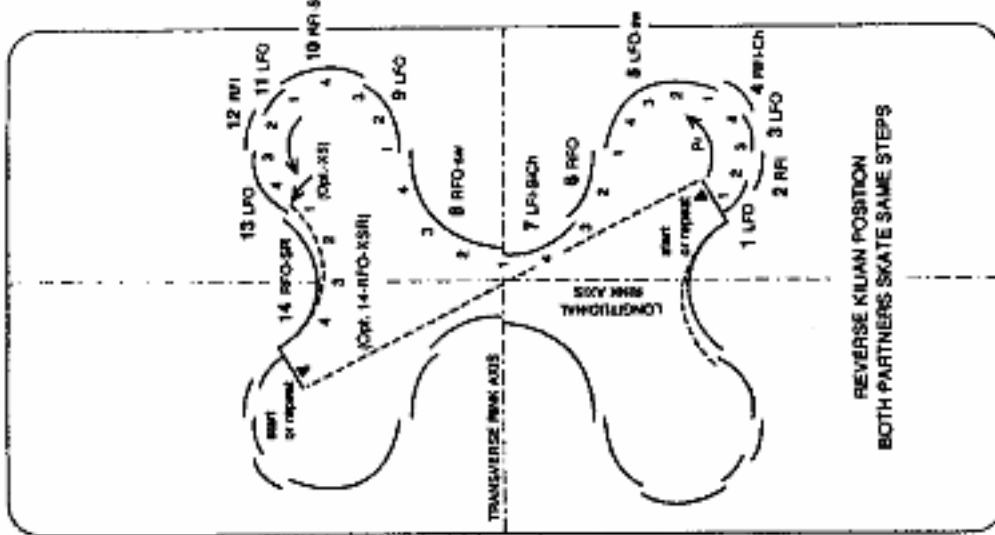


- 8 ) 技能競技 8
  - a ) フォアアウトスリーターン。(左、右)
  - b ) フォアインエッジにのって滑る。(左、右)
  - c ) バニーホップ。
- 9 ) 技能競技 9
  - a ) フォアインスリーターン。(左、右)
  - b ) 5回連続バッククロス。(左、右)
  - c ) フォアのスパイラル 体の3倍の長さ。
- 10 ) 技能競技 10
  - a ) 連続してフォアアウトエッジにのって滑る - 最低左右各足で2回。
  - b ) 連続してフォアインエッジにのって滑る - 最低左右各足で2回。
  - c ) フォアインモホーク。(左右とも)
  - d ) 連続してバックアウトエッジにのって滑る。(左右とも)
- 11 ) 技能競技 11
  - a ) ワルツジャンプ。(スリージャンプ)
  - b ) 片足スピン - 最低3回の回転。
  - c ) フォアクロス、インモホーク、バッククロス。(左右とも)
  - d ) 技能競技 8 - 11 kから選択した3つの動作の組み合わせ。

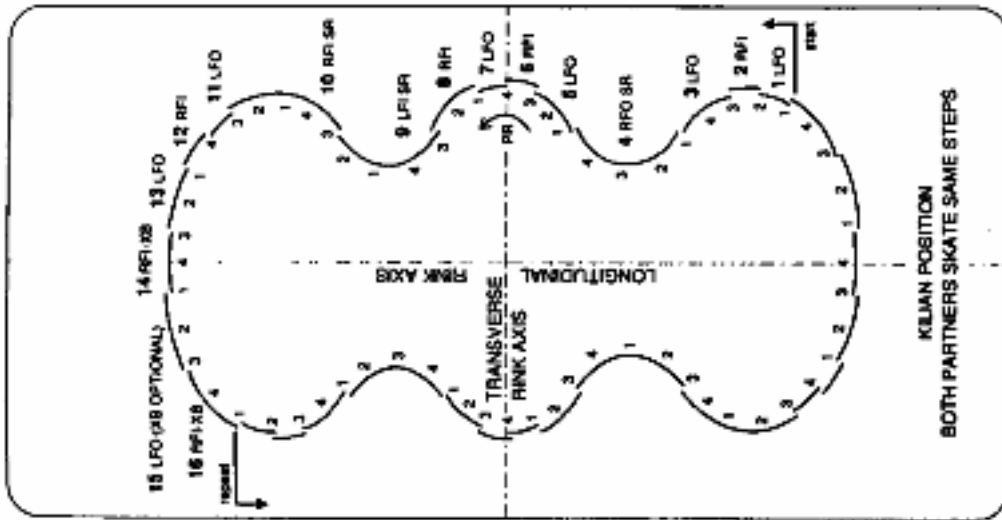
タッチ フルン



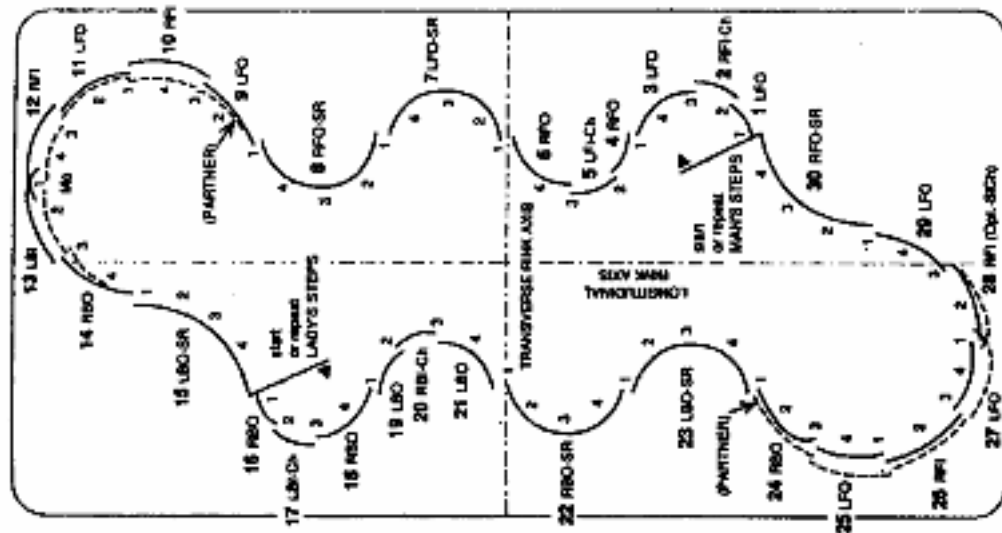
カノスタ タンク

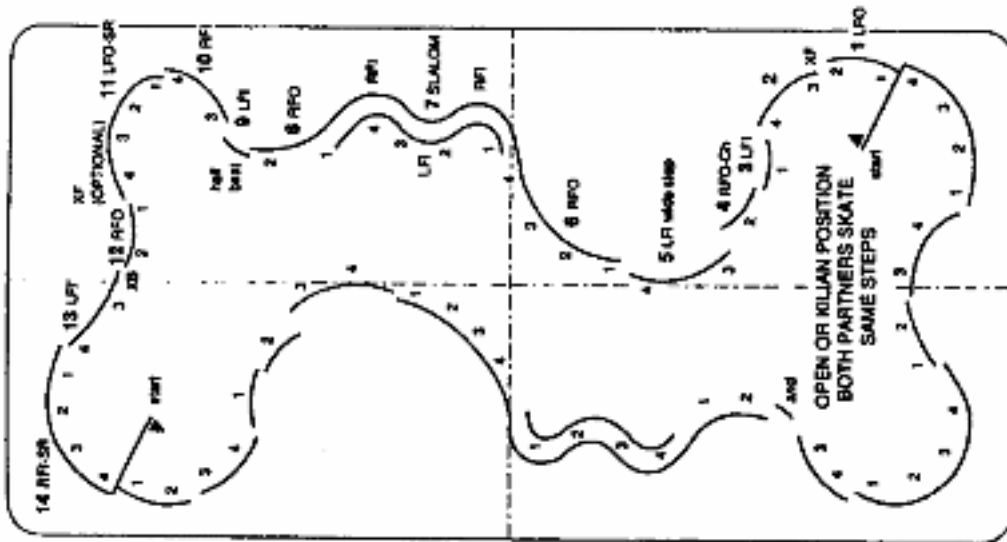


リズム ブルース



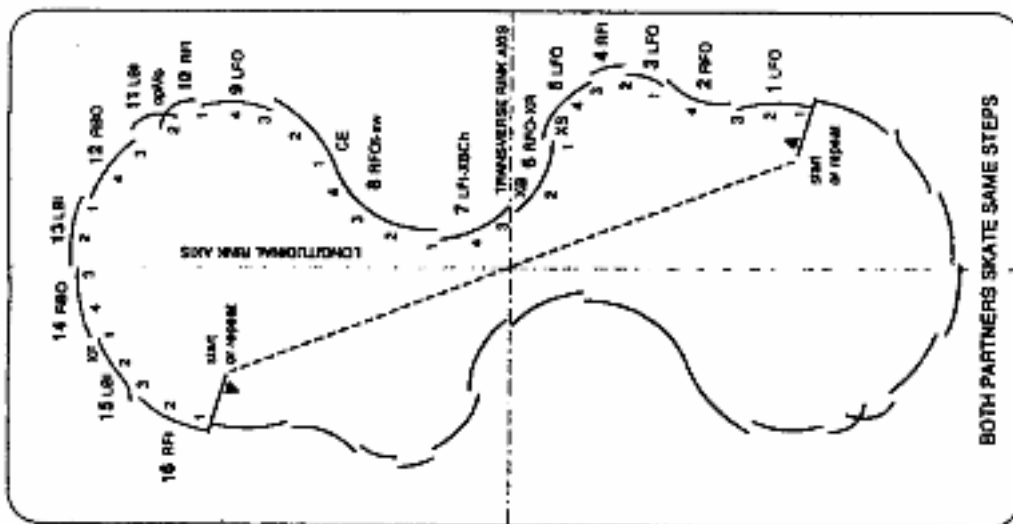
スイング ダンス



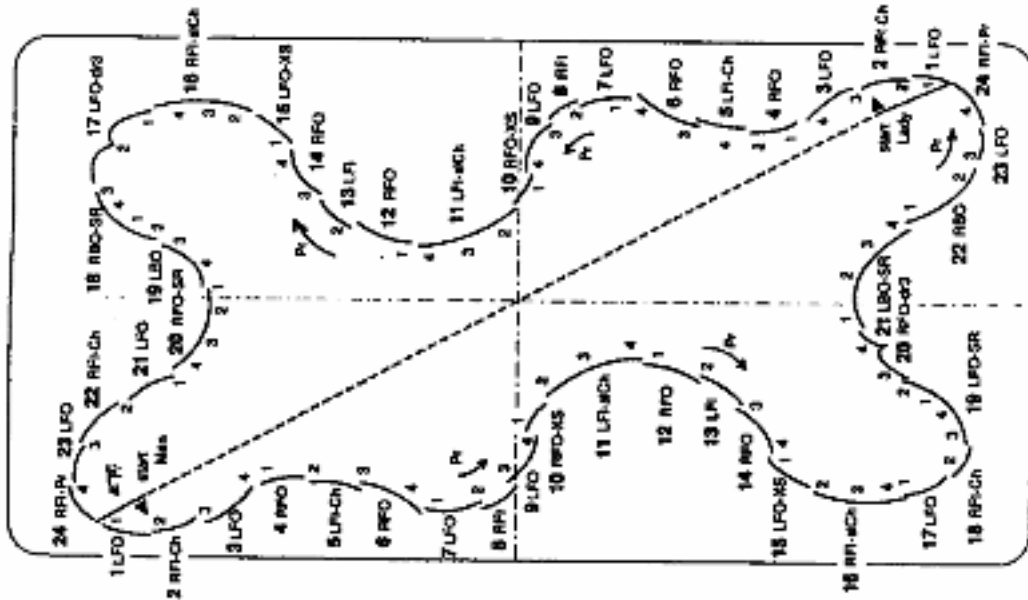


↑ ↑ ↑

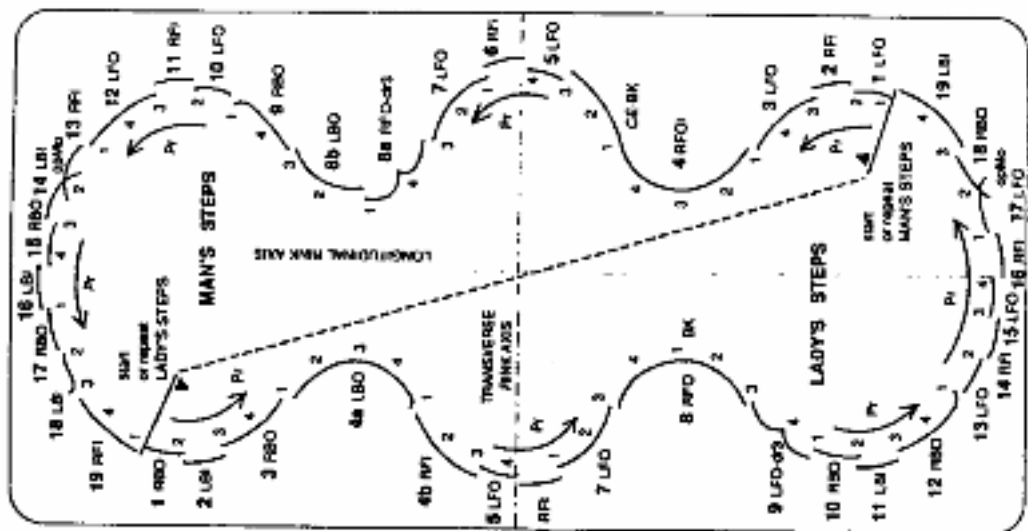
フィエスタ タンゴ

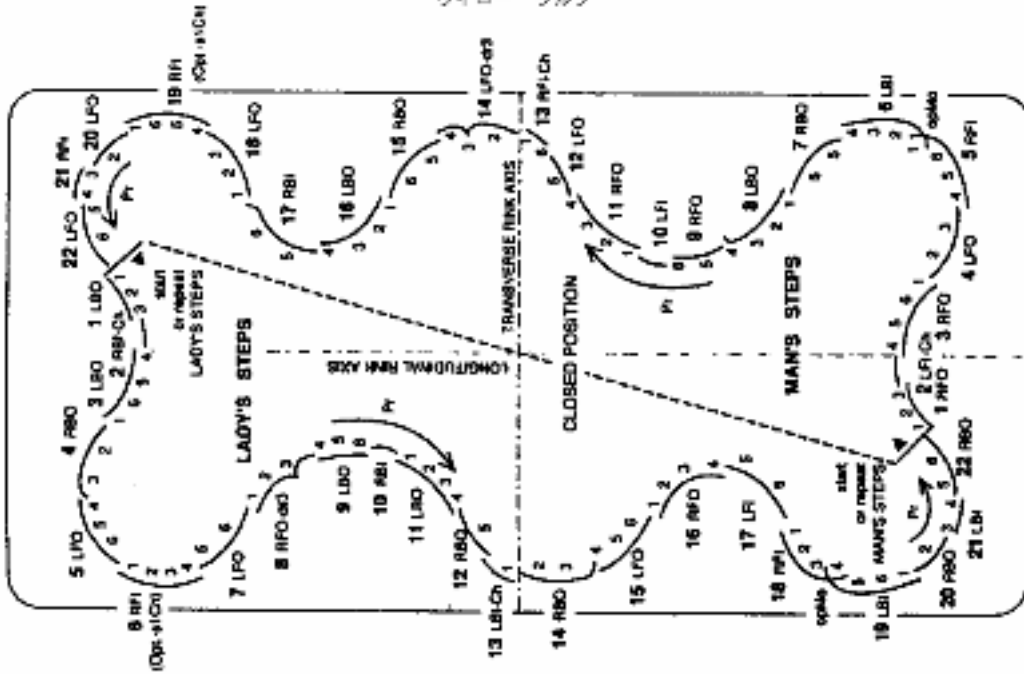


ドゥーリー ホーダウン



デーン・マックス





<スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムを実施するに当たっての留意点>

スペシャルオリンピックスの正式なスポーツプログラムとして活動する場合には、事前に最寄りの地区組織事務局、又はスペシャルオリンピックス日本本部事務局にご連絡ください。